

記 事

例会記録

第45回 日本医史学会神奈川地方会 秋季例会・
日本医史学会9月例会 合同例会

平成27年9月12(土)
鶴見大学3号館2階3-4講堂

特別講演

医史学を学んでのよろこびについて
順天堂大学特任教授・日本医史学会前理事長
酒井シヅ

一般講演

小林一茶『父の終焉日記』(1801)にみる父親へ
の看病内容 平尾真智子

日本医史学会10月例会

平成27年10月24日(土)

順天堂大学医学部センチュリータワー16階北フロア

1. 明治期に来日したアメリカ人女性医療宣教師
について 藤本大士
2. お玉ヶ池種痘所五人衆の足跡を求めて
深瀬泰旦

書 評

瀧澤利行, 七木田文彦, 竹下智美 著
『雑誌「養護」の時代と世界
——学校の中で学校看護婦はどう生きたか——』

明治38(1905)年にわが国で初めて養護教諭の前身である学校看護婦が誕生して、2015年で110年を迎える。その記念すべき年に学校看護婦の成立からその後身といえる養護訓導の成立までを視野に収めた学校看護史の書が発刊され、深い感慨を覚える。

本書は大空社による復刻版「雑誌『養護/学童養護』(全9巻・別巻1)セットのうちの別巻である。これは昭和3年から昭和12年まで発刊された学校看護婦のための専門誌「養護」とその後継誌である「学童養護」の復刻版を全9巻に収め、その解題と学校看護婦の通史を別巻1冊としたものである。これらは学校保健・学校看護を研究するには必須の歴史書であろう。この分野では杉浦守邦氏による『養護教員の歴史』(1974)が、医療

系研究者によるものとしてすでにあるが、新しい研究成果を盛り込んだ書が期待されていた。学校保健を取り巻く社会状況を広く捉え、外国の制度も参考にしながら日本の戦前期の学校看護婦に光を当てている。また今回復刊された雑誌『養護』『学童養護』の内容を、独立した第四章に多く盛り込んでいる。本書の内容はつぎのとおりである。

序 章

- 第一章 学校衛生(学校保健)の成立と学校看護
- 第二章 帝国学校衛生会の設立と看護部
- 第三章 帝国学校衛生会看護部の設置とその活動
- 第四章 雑誌「養護」「学童養護」の中の学校看護婦
- 第五章 養護訓導の誕生と量的拡大過程
- 結章 時代の中の学校看護婦